

みどりいっぱいプロジェクト (ICTを活用した生物多様性保全活動)

2012年11月にスタートしたNTT西日本「みどりいっぱいプロジェクト」は2013年度では、西日本エリアの全30府県で7,231名の活動になっています。NTT西日本グループでは、多くの人に生物多様性の活動を知っていただき、加わっていただくこととともに、図1のようなICTを利用した生物多様性の保全活動にも力を入れています。

例えば、絶滅危惧種の多くは、その生態が明らかになっていません。生態が明らかになれば、保護方法や生育方法も確立でき、絶滅から救えるかもしれません。また、生育方法がある程度解明されていても、多くの方にその方法を伝えたり、お互いに学習していかなければ保護をすることはできません。NTT西日本では遠く離れたところで活動している方達をICTの力でつなぐことで、生物多様性保全に貢献しています。

特集2では、2013年度に実施した、ICTを活用した「ニッポンバラタナゴ保護活動のセンサネットワークと遠隔教育」と「葵サミット」についてご紹介します。

「ICTの活用等による生物多様性保全ならびに環境教育の推進」について

<http://www.ntt.co.jp/news2013/1305/130525a.html>

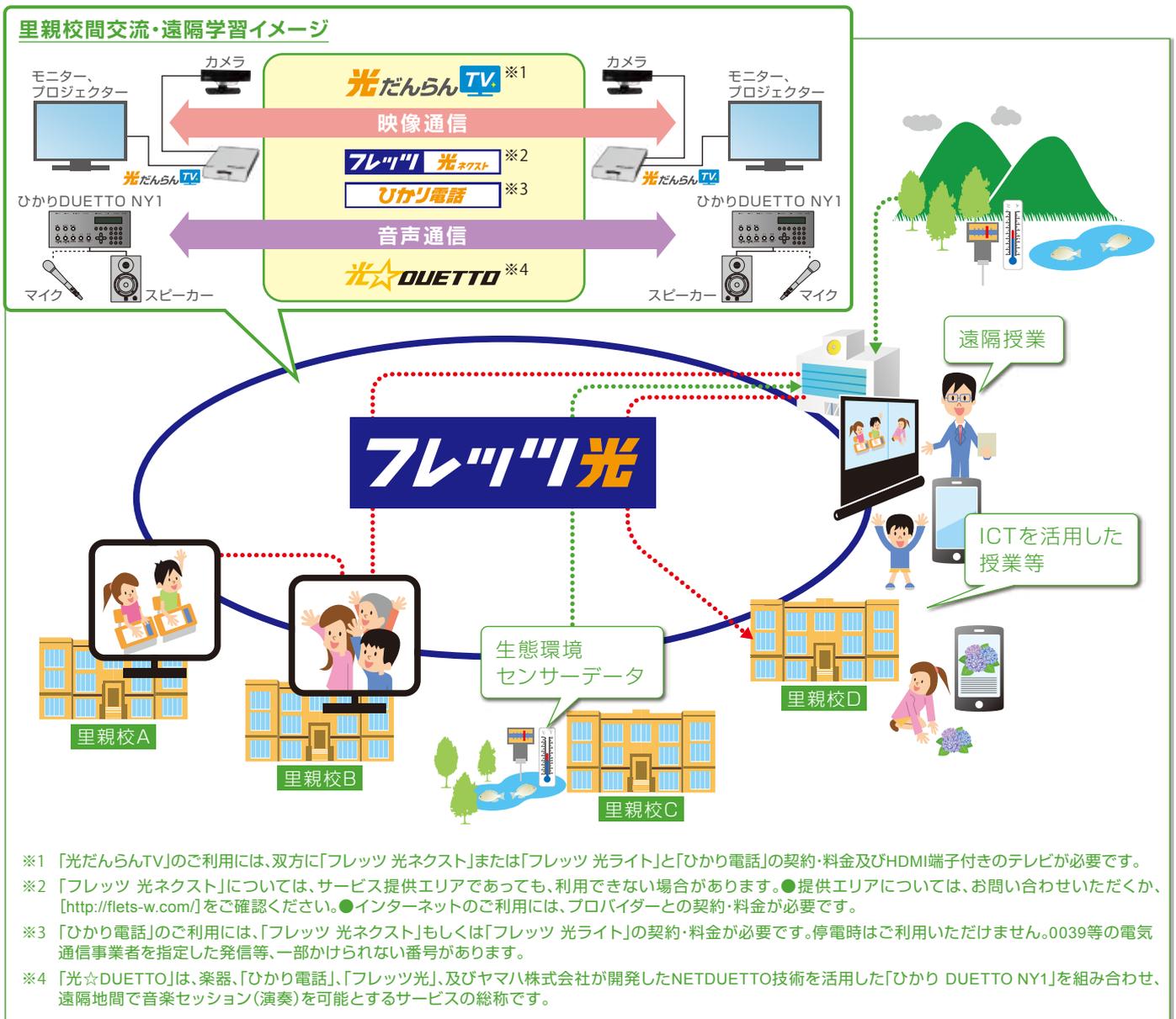
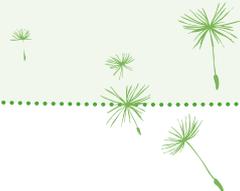


図1 生物多様性保全教育のICT活用イメージ



ICTとニッポンバラタナゴ

センサネットワーク技術でニッポンバラタナゴの生育条件を明らかに

NTT西日本奈良グループでは、「みどりいっぱいプロジェクト」の一環として、絶滅危惧種であるニッポンバラタナゴの保護、里山環境の復元に取り組んでいます。

さらに、NTTコミュニケーション科学基礎研究所(以下、NTT CS研)では、近畿大学農学部との共同実験として、絶滅危惧種であるニッポンバラタナゴの生息環境をセンサーネットワークでモニタリングする研究を行っています。センサーネットワークの構築には、NTT CS研でこれまで開発してきた仮想マシンとセンサーノードを利用し、近畿大学農学部のキャンパス内の里山にあるニッポンバラタナゴ保護池にセンサーを設置して2013年度より24時間連続センシングを行っています。センシング実験を行ったところ、産卵活動と明るさ、酸素量の関係等生態に関する新たな知見も得られています。



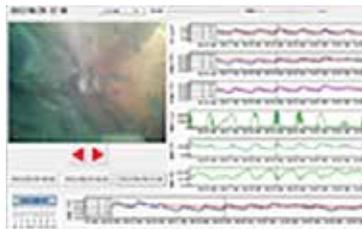
ニッポンバラタナゴ観測の様子



ニッポンバラタナゴ



センサーネットワークで連続観測



テレビ会議の利用で、里親校交流

近畿大学の保護池で繁殖したニッポンバラタナゴは奈良県内の小中学校が里親となって保護飼育しており、2013年7月には、テレビ会議を利用した遠隔授業を通じて、これまで交流のなかった里親校の児童たちが、それぞれの学校での飼育状況、取り組み方法の紹介を行いました。他の学校のニッポンバラタナゴ飼育状況を聞くことで、自分たちの飼育状況と比較し、新しい飼育の取り組み方法を考える等、今まで以上に飼育の意欲を高めるものとなります。

また近畿大学農学部の北川准教授から児童たちへ飼育のアドバイスをいただきました。専門家へ直接児童たちが質問する等双方向でのやり取りができ、充実した学習の機会となりました。



里親校交流会での様子



ICTとフタバアオイ

テレビ会議で3都市を結んで自然との共生を考える ～葵の里親サミット～

京都三大祭りの一つでもある葵祭に使われるフタバアオイの育成活動等を通じ、文化・環境保全の啓発を進めるNPO葵プロジェクト様が主催する葵の里親サミット(学習発表、ディスカッション、合唱、講演等)を、私たちNTT西日本のICT技術で3都市を結んで遠隔開催しました。

葵の里親をしている京都府、静岡県、福井県の小学校の児童たちと、株式会社わかさ生活様、NTT西日本グループの里親社員がテレビ会議で接続され、学習発表、ディスカッションを行い、自然への思い、文化への思いを深めました。途中、タブレットを用いて上賀茂神社境内にある葵の森と中継をつなぎ、里親から株分けされた植栽場所が映し出されると、里帰りした現在の葵の様子に里親は感慨深げでした。

また、「光☆DUETTOサービス」を使って「あおいのうた」を合唱し、絆を深めました。距離による遅延を感じさせず、まるで全員がひとつの場所に集まっているような一体感に会場の子もたちも驚いていました。当日は参加できなかった遠方の里親に向けて、開催模様のライブ配信も行われました。自分の育てた葵が里帰りをする地を感じることで、さらに葵の育成への熱意が増したようです。

NTT西日本では、今後もこのような自然との共生や環境について考えるプロジェクトに積極的に参加し、距離を超えて広がる交流にICTを活用し貢献していきます。

●利用したICTサービス

TV会議：Bizひかりクラウド「MeetingPlaza」／合唱：「光☆DUETTO」／ライブ配信：「SmartSTREAM」(NTTスマートコネクト)



フタバアオイ



福井会場



京都会場



静岡会場(葵小学校)



ICT技術を用いた葵の里親サミットの様子

「緑のgoo」と連携したみどりいっぱい活動

NTT西日本グループは、ICTの利活用を牽引することにより環境保護に寄与するとともに、今後も引き続き、自らの地球環境の負荷低減に努めていきたいと考えています。その中で社員の環境貢献に対する意識の啓蒙と社会貢献活動との一層の推進を図ることを目的として、NTTレゾナントが提供する「緑のgoo」の取り組みに協力し、5年前から社内での利用推進をはじめました。

具体的には社内パソコンのスタートページに「緑のgoo」を登録する、またはブックマークするよう呼びかけ、社員一人ひとりが自発的に取り組めるようにしています。

2012年度からスタートした「NTT西日本 みどりいっぱいプロジェクト」の一環としても取り組み、2014年度は「緑のgoo」利用頻度が前年度に比べ約20%アップしています。

2014年4月～2014年9月では、「緑のgoo」利用全体の約8% (2,867,392アクセス) に貢献しています。